

各企業等の社会貢献

登寿ホールディングスが清掃活動

感謝の気持ち込め丁寧

帯広神社と十勝護国神社で

【帯広発】宮坂建設工業 多くの地域貢献活動を実施

（帯広、宮坂寿文社）をはじめとする登寿ホール

ディングスは十三日、帯広神社と十勝護国神社で恒例の清掃活動を展開した。地域への感謝の気持ちを込めて、総勢二百十八人が広い敷地内のごみや枯葉などを丁寧に拾い集めた。

同日は、創始者の遺訓である「世の為人の為につくせ」の精神から、地域への恩返しを込めて数

百二十名ほどに分かれて清掃活動に移った。

特に、境内の一角に堆積したとんと焼きの灰などの燃えカス処理は大仕事。多くの若手職員がピ

ンチンと汗を流した。

このあと、工事本格化を前に安全祈願も行われ、とし一年の無事故・無災害を参加者全員で誓い合った。



総勢218人が広い敷地内のごみ除去に汗を流した

帯広、護国神社を清掃し安全祈願も

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業

（本社・帯広、宮坂寿文

社長）は13日、帯広神社

と帯広護国神社で清掃奉

仕活動をした。写真。関



1995年に始めた活動で23回目。グループの松本組（函館）、平田建設（札幌）などから集まった。開始前に宇佐美恭広副社長は「ぎょうを本年度の新たなスタートだと考え、気を引き締めてけがのないよう作業に取り組んでほしい」と激励した。参加者は、ごみ袋を携えて境内のごみを拾い集めたほか、傷んだ木をチェーンソーで処理した。終了後は札幌支店からの参加者も加わり、312人が本殿前に整列して安全祈願の拝礼をした。

◆登寿ホールディングス
(宮坂寿文社長)が神社清
掃奉仕

13日、帯廣神社と十勝護
国神社の境内で行った。宮
坂建設工業など傘下の企業
6社から約220人が出て
活動した。写真。

各種工事が本格化する5
月に、1995年から毎年
続けている取り組み。両神
社の境内で、ごみ拾いや落
ち葉の撤去、社務所屋上の
清掃、どんど焼きの灰の片
付けなどを手分けして行っ
た。宮坂建設工業の加藤兆
基専務は「建設業は安全が



第一。いつも守ってもらっ
ていることへの恩返し的气
持ち」と話していた。続け
て帯廣神社で宮坂社長を含
む全員が安全祈願した。